

# 令和4年度なは市民協働大学だより



## 第5回講座「住民をつなぐ！地域コミュニティづくり」

11月16日(水)に、なは市民協働大学5回目を実施しました。今回は、地域コミュニティづくりがテーマで、銘苅新都心自治会の前原会長、松島自治会の西平会長よりそれぞれの自治会活動についてお話いただきました。

それぞれの自治会の取り組みや現状、地域コミュニティの将来像等、貴重なお話をいただきました。受講生からは「自治会の活動について全く知らなかったのでいろいろ知ることができて勉強になった」「自治会の実際の事例を出しながら話していたので理解しやすかった」等の感想がありました。

また、まちづくり協働推進課の屋比久課長からは、市の自治会の状況についてお話いただきました。受講生からは「自治会が151もあることや自治会がない地域を地図で見ることができたのでよかった」等の感想がありました。

次回、協働大学6回目は12月17日(土)、成果発表及び修了式となります。これまでの講義で学んだことについて各グループで発表していただくこととなります。受講生の皆様がどのような学びがあったか、気づきがあったかをお聞きするのを楽しみにしています。



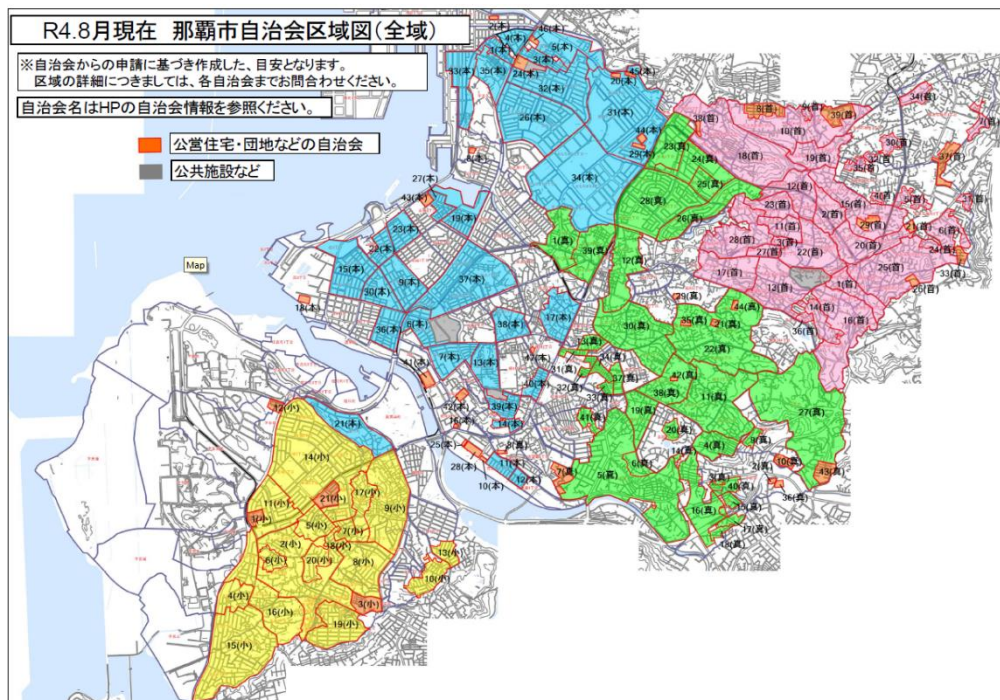
松島自治会 西平会長



銘苅新都心自治会 前原会長



まちづくり協働推進課 屋比久課長



<受講生満足度：事後アンケートより>

回答 16 名中：「満足」14 名、「やや満足」2 名。「やや不満」、「不満」は無し。

<グループワークの様子>



<受講生の声（抜粋）>

- ・自治会長から直接お話を聞けることがなかなかないので、自治会が行っている取り組みを知れた。
- ・前原会長、西平会長のお話、大変参考になります。いろいろな学びがありました。
- ・それぞれのすばらしいビジョン、取り組みを知ることができた。
- ・自治会加入率が低いことを負にみていない。地域を飛び越えてコミュニティを作ることが大切。
- ・役割を知ることで抱くイメージが変わる(銘苅の公園)。メッセージの伝え方が重要(松島の花壇)。
- ・スモールステップでプラン、実行、チェックして答えを振り返るのは素晴らしい。地域の誰もが地域をつかいこなそうとは素晴らしい言葉です。
- ・地域を愛していること、人材育成も、協働なしではできないと思いました。誰もがチャンスあり！につながっていくのだと思いました。リーダー的存在の方は必要だと思いました。
- ・松島自治会の緑化事業（花を配置したところ、ごみの投棄がなくなった）が心に残りました。
- ・銘苅自治会のまつりの時に地域の人を紹介するのは、気軽に知ることができてとても良いことと思いました。
- ・松島自治会の西平会長の講義の中で「3つのCの関係性」はどの団体（まち協やPTAなど地域活動団体）にも共通するのではと思いました。
- ・自治会は活動する場所だけでなく、自分のやりたいことを実現するツールだと感じた。
- ・花を植えることが高齢者→散歩→見守りへとつながる、良い循環だと思った。
- ・コミュニケーション→子どもたちへ地域の良さ、思い、環境を伝えている。地域外からも受け入れ、盛り上げている。
- ・3つのC、どちらもバランスよくすることで、地域の輪が広がり、つながれる。自治会に入りたけれど、土地の関係で入れないことにショックを受けました。

なは市民協働大学第6回（最終回）：令和4年12月17日（土）10時～12時30分

☆修了生は、9時45分にはご来場ください。

<お問合せ>

担当：小波津 與那覇 渡嘉敷

電話：098-861-502

メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp

Facebookも  
ぜひご確認  
ください！

